

影を斬る (1963)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1963/03/01

公開情報 大映

【解説】

「椿三十郎」の小国英雄によるオリジナル脚本を「地獄の刺客」の池広一夫が監督し「新選組始末記」の市川雷蔵が主演した大映時代劇。このスタッフ・キャストと題名にも関わらず、内容は完全なるコメディ作品。市川雷蔵演じる主人公のダメっぷりが楽しい。

奥州伊達藩青葉城の剣術指南役、井伊直人は仕事そっちのけで、主君伊達忠宗を誘い出し夜な夜な飲み屋に出かけていた。そんな直人のもとに家老の娘の定が嫁入りしてくる。婚礼の客の目の前で定と剣道の試合を行い、直人はこてんぱんにやられてしまった。修行の旅に出て半年後に戻るが、またもや定に負けて再び江戸に逆戻り。さらに江戸と家を往復した直人は、いきなり柳生道場に住み込むと宣言し、用人の左内と別れた。数年後、青葉城で直人と定の御前試合が行われることになり…。

【クレジット】

監督 池広一夫

脚本 小国英雄 Hideo Oguni

撮影 武田千吉郎

出演 市川雷蔵

瑳峨三智子

坪内ミキ子

成田純一郎

松本錦四郎

小林勝彦

真城千都世

井上明子

高森チズ子